

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	プログレッシブ 特進一貫	国語	国語	全	必修	6

講座のねらい

本講座では、まず中学課程の知識・読解力・表現力を確実に身につけます。次に、高校課程の現代文・古文・漢文の基礎的知識および読解力を習得することで、総合的な文章読解力や表現力を養成することを目指します。

使用教材及び問題集

「国語3」（光村図書）「中学必修テキスト3年」（文理）
「基礎からの総合トレーニング古典Ⅰ」（Learn-S）
「新修古典文法二訂版」「ドリル」（京都書房）
「四訂版漢文必携」「チェックノート応用編」（桐原書店）
「新版四訂 カラー版新国語便覧」「準拠ノート」（第一学習社）

授業の内容と進め方

1. 「国語基礎」教科書の単元に沿って精読します。幅広いジャンルの作品に触れることで、総合理解を深めていきます。
2. 「国語演習」では、問題演習を中心に演習を重ね、解法のための実践的読解力を養います。また、古典文法や漢文句形の学習により、古文・漢文の基礎力養成を目指します。さらにグループワークや多彩なプログラムを通して、自己を表現する能力の養成を図ります。外部団体への作文や俳句の応募を通して、「書くこと」の力も養成します。

講座の到達目標

国語基礎では、教科書を中心とした学習と、現代文分野における応用的な学習を主に取り組んでいきます。「論説・評論の読解力を養う」「自分の考えを適切に表現する能力を養う」「小説・詩・短歌の読解」など幅広く学び、豊かな国語感覚を身につけていきます。また、文章の構成、主旨、長文や難解な文章に対する読解力などを養い、さらに自分の考えを表現する能力の育成を図ります。国語演習では、古典分野の学習において総合的に取り組んでいきます。一学期の目標は、「古典古文に親しむ」「古典文法の基礎を学ぶ」こととし、二・三学期の目標は、「古典文法事項の知識定着」「古典文章を読み解く」こととして、基礎から応用への理解を進めていきます。また、漢文では読解の基礎となる句形を中心に学習していきます。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査（年5回）・課題考査（年3回）を中心として、予習・復習への取り組み、長期休暇中の課題提出状況、授業中の確認テスト等を総合的に判断します。

備考

夏期休暇中は集中講義を実施し、古文・漢文の基礎知識の定着を図ります。冬期休暇中にはその学期の復習と発展的内容の補習を実施します。また、校外模試対策も積極的に取り組んでいきます。

1 学期 学習計画および学習内容

《国語基礎》

- ・教科書
「春に」「握手」「月の起源を探る」
「俳句の可能性」「俳句を味わう」「批評」の言葉をためる
- ・問題集 「中学必修テキスト 国語3年」

《国語演習》

- ・「基礎からの総合トレーニング古典Ⅰ」
- ・「新修古典文法」 言葉の単位・単語の分類と品詞・動詞
- ・国語便覧、準拠ノート
- ・校外模試対策プリント

2 学期 学習計画および学習内容

《国語基礎》

- ・教科書
「高瀬舟」「古今和歌集 仮名序」「君待つと」「夏草」
「作られた『物語』を超えて」「初恋」
- ・問題集 「中学必修テキスト 国語3年」

《国語演習》

- ・「基礎からの総合トレーニング古典Ⅰ」
- ・「新修古典文法」 形容詞・形容動詞・助動詞
- ・国語便覧、準拠ノート
- ・校外模試対策プリント

3 学期 学習計画および学習内容

《国語基礎》

- ・教科書
「誰かの代わりに」「わたしを束ねないで」
- ・問題集 「中学必修テキスト 国語3年」

《国語演習》

- ・「基礎からの総合トレーニング古典Ⅰ」
- ・「新修古典文法」 助動詞
- ・「四訂版漢文必携」「チェックノート応用編」漢文基礎
- ・国語便覧、準拠ノート
- ・校外模試対策プリント